

## 矯正施設の安定的な運営により、災害時の被災者支援等に貢献する

概要：金沢刑務所等の総合警備システム等警備機器等を更新整備したことで、令和6年能登半島地震発生時にも安定した稼働を維持することができた結果、職員による被災地域への支援活動等を実施することができた。

対策名：対策番号28 矯正施設の総合警備システム等警備機器等の更新整備対策<5か年加速化対策>【法務省】

■ 実施主体：金沢刑務所 等

■ 実施場所：石川県金沢市 等

■ 事業概要：金沢刑務所等の総合警備システム等警備機器等を更新整備し、災害発生時においても被収容者の逃走事故が発生しない体制を整備した。

■ 事業費：約1億5,500万円(令和4年度)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1億5,500万円)

■ 災害の外力、被害と効果：金沢刑務所の総合警備システムは、令和4年度まで不具合を頻発している状況にあったが、同年度に更新整備したことで、令和6年能登半島地震発生時に震度5強を記録した地域に所在し、建物内壁等が損壊等するほどの状況であったにもかかわらず、安定した稼働を維持することができた。

その結果、被収容者の逃走事故を発生させることもなく、また、支援物資(職員用備蓄非常食約3万食等)を搬送して提供するなど、職員による被災地域への支援活動等を実施することができた。

地震発生によって金沢刑務所被収容者用物品が散乱している状況(右)



地震発生によって金沢刑務所内壁が損壊している状況(左赤枠内)

被災地域への支援物資の搬送状況(右)



職員による被災者支援状況(左)